

多摩大学大学院 2007 年秋\_\_特別講義【未来経営ワークショップ：フューチャーデザインの方法論】

参加者：4G(各8名)=32名定員

黄欄は演習 緑欄はレクチャー

	Day1 10月21日(日)	Day2 11月18日(日)	Day3 12月16日(日)
AM 9:00- 12:00	オリエンテーション 全体構成：①業界スキャン ②個別シナリオ 事前宿題確認 グループ形成	前回レビュー レクチャー 「シナリオ・プランニングの方法論」 紺野 登	前回レビュー レクチャー 「意味生成する組織 (sense making)」 紺野 登
	レクチャー 「未来学及びシナリオ・メソッドの基礎概念 (背後にある方法論的アプローチ)」 紺野 登	セッション4: シナリオ空間の構成	セッション7: 各シナリオを見直し変化の兆候を探る
	セッション1: 課題の設定、現状の認識(テーマスポンサーの問題意識確認、ヒアリング)	セッション5: より深い背後の要因の考察	セッション8: 戦略上の示唆・オプションの抽出
	LUNCH	LUNCH	LUNCH
PM 13:00- 18:00	レクチャー 「戦略と未来」ドイツ銀行等の事例等 紺野 登	セッション6: シナリオ空間の吟味、ネーミング	セッション9: 課題に対する提言・結論
	セッション2: 課題に影響を与える外的要因抽出	セッション7: シナリオをストーリー展開する	まとめ作業
	休憩	休憩	休憩
	セッション3: 外的要因の評価と要因のグルーピング	レクチャー 「集合知とその応用」 橋本大也	プレゼン2
		プレゼン1 (中間)	講評 全体レビュー
night	宿題：要因変数(軸)の作成(グループ作業)	宿題：Indicatorの収集(個人作業)	ささやかなビュッフェパーティ